



インターネットを活用し、あらゆる方向からアプローチ！ ～中国向け販路開拓の事例～

新潟県知事政策局国際課中国室

新潟県では、自治体国際化協会の助成事業を活用し、平成 25 年 1 月に、(株)チャイナコマースが運営する銀聯在線商城「日本館」内に、中国向けネットショップ「新潟館」を開設しました。

また、その翌年には、中国での日系百貨店（上海、天津、成都）における巡回物産展の開催に取り組み、県内企業の中国販売に関する費用負担の軽減、物産展開催後の継続的な販路確保、県産品の知名度向上などを図ってきました。

「新潟館」とは

平成 24 年度に開設したネットショップ「新潟館」では、企業は月額 5 千円の負担と販売代金の 9 % の手数料で、①中国語対応コールセンターの設置、②専用倉庫による国際発送業務の代行、③銀聯カードによる代金回収代行などの支援メニューが受けられ、国内向けの通信販売と同程度の業務負担で中国へ商品を販売することができます。

「新潟館」には約 200 点の県産品が掲載されています。当初は新潟県との交流が盛んな中国東北地方からの注文がほとんどでしたが、上海などの東北地方以外からの注文も増えてきています。今後も商品の充実を図り、「新潟館」を活用しながら、県内企業の中国販路開拓の取り組みを支援していくことを予定しています。

※新潟館アドレス（中国語）

<http://emall.chinapay.com/store/289254.html>



「新潟館」トップページ

好評を博した「巡回物産展」

平成 25 年度に実施した「巡回物産展」の取り組みでは、上海、天津、成都の各伊勢丹において、それぞれ 2 週間～4 週間の期間で新潟物産展を開催しました。ジャパンフェアなど百貨店のイベントに併せて開催することで、集客数を増やすとともに広告などにかかる費用の圧縮を図りました。その結果、東日本大震災の影響で県産食品の輸出が禁止されている中での開催でしたが、洋食器、ニット、家電を中心に約 500 万円を売上げました。さらに、「巡回物産展」への参加をきっかけに伊勢丹で単独イベントを開催する企業も現れるなど、企業独自の販路開拓につなげることができました。



成都伊勢丹新潟物産コーナー

ネットを使った PR の重要性

平成 26 年度も「新潟館」、「巡回物産展」の取り組みを継続することにより、県産品の販路開拓支援を実施しましたが、認知度の向上・新規販路開拓に繋げていくには、日本製品に関心を持つ富裕層を対象に的確な情報発信を行うことが課題となっていました。



中国では、インターネットの普及に伴い、従来の口コミから、ネットを活用した情報収集・発信が活発に行われてきており、有力ブロガーなどが発信する情報には多くの人々が関心を寄せるようになってきました。

このため、平成 26 年度は「新潟館」、「巡回物産展」の継続開催に加え、中国の有力ブロガーや新潟県のウェイボー^(※)を活用した情報発信を組み合わせることで、重層的な販路開拓に取り組みました。

ブロガーを使った PR の取り組み

平成 26 年 10 月、黒龍江省ハルビン市の日本料理店において、黒龍江省在住のブロガー 7 名と食事をしながらネットショップの商品、県の観光を PR するイベントを開催しました。当県ウェイボーのフォロワーの中で、記事の発信頻度、フォロワーの数が多い方を招待するとともに、現地メディア関係者なども招待し、さまざまな職種の方々から参加いただくことができました。

イベントでは、ブロガーからネットショップの商品（ぐい呑み、タンブラー、爪切りなど）を実際を使ってもらうことで、品質の高さを実際に体感してもらうとともに、観光情報も発信しました。

イベント開催後には各自の SNS 上にて、商品を使用した感想や新潟県の観光などについての情報発信をするよう依頼しました。

約 1 週間後に、参加者各自の SNS 上にて発表した内容について反応を確認したところ、ウェイボーの閲覧数が 3 万人を超えるブロガーもいるなど、大きな成果を得ることが出来ました。

さらに、県のウェイボーにおいても、通常の 10 倍の



ブロガーを招待しての新潟県 PR イベント

閲覧数がありました。コメント欄には、「商品を使ってみてみたい」「ハルビンでも本格的な日本料理店があることを初めて知った」「機会があれば新潟に行ってみてみたい」「日本の商品は非常に精巧」などの好意的なコメントが多く寄せられました。

また、ブロガーが紹介した商品に中国全土からまとも注文が入るなど、PR の効果が明らかになりました。

今後の取り組みについて

自治体国際化協会の助成事業により、「巡回物産展」による実店舗での販売、ネットショップ「新潟館」による継続的な販売ルートの確保、「ブロガーを使った PR」による、ネットの口コミを利用した効果的な県産品の宣伝を実施することができました。

今後は、県産品の中国でのさらなる知名度向上及び販路開拓のために、今回の助成事業で有効性が明らかになったブロガーによる PR や県のウェイボーを使った「ネットによる PR」の取り組みを進め、ネットショップや「巡回物産展」との連携をさらに深める取り組みを行っていく予定です。

また、平成 26 年度事業で、強い関心をもってもらうためには、県産品に直接触れる機会を増やすことが重要である事がわかったため、今後は、単発的な展示・販売だけでなく、PR コーナーの設置など常時商品に触れることができるような取り組みを進めて行く予定です。

(※) ウェイボー…中国最大の SNS



ブロガーによる新潟県 PR イベントに関する記事